

令和 6 年度 第 4 回美咲町行財政改革審議会

開催日：令和 6 年 1 2 月 2 3 日（月）

1. 協議事項

(1) 民間活力活用の推進

民間活力活用の推進について

●担当課：みさき共創室

●審議内容：人口減少、少子高齢化の進展により社会環境が大きく変化する中で、従来のやり方や考え方を踏襲していたのでは地域の抱える課題解決は困難です。様々な分野の多様な人たちとの連携により、地域課題の解決を図る「民間活力の活用」について、審議しました。

●現状や課題、問題点など●

- ・官民共創を推進するため、令和5年度より機構改革によりみさき共創室を設立し、複数の連携協定を締結している。
- ・連携を締結している事業者のほとんどが町外の事業者であり、町内事業者との連携が進んでいない。
- ・取り組むべき地域課題と、その課題解決につながる民間サービスのマッチングが重要。

1. 協議事項

(1) 民間活力活用の推進 民間活力活用の推進について

▼審議会委員からの主な意見▼

- 地域の方々が何に困っていて、どんな助けを求めているのか、ニーズを細かく把握し、整理することが重要です。
- 連携を検討する際、住民側は事業者の詳細が分かりません。小規模多機能自治と連携し、事前に情報共有することでマッチングの効率も上がり、取り組みの幅も広がるのでは？
- 地域の実情を把握し、長期的に関わることができる町内事業者への情報発信や連携強化に努めましょう。

1. 協議事項

(2) 行政組織力の向上

働き方改革の推進について

●担当課：総務課

●審議内容：社会環境の変化で、複雑化する地域課題に対応できる組織の構築が求められますが、一方で人口や公務員志望者の減少で、今後深刻な労働力不足が懸念されます。美咲町における働き方改革とは何か、具体的な取り組み内容や方針について審議しました。

●現状や課題、問題点など●

- ・働きやすい職場の「制度構築」と職員の能力向上のための「人材開発」を意識した施策を推進
例) 各種電子化、時差出勤、育休、研修、メンター制度 (※) …etc
- ・働き方改革の指標や成果の分かりづらさ
- ・専門職の採用困難

※メンター制度とは… 先輩職員（メンター）が、後輩職員（メンティー）に対して行う個別支援活動です。
美咲町では、3年未満の若手職員が、仕事及び生活全般で先輩職員に相談できる体制を整備しています。

1. 協議事項

(2) 住民との協働

小規模多機能自治の推進について

▼審議会委員からの主な意見▼

- 災害時など、通常の業務外での対応が発生したときに、業務調整などの配慮ができる仕組みがあると良いですね。
- 周辺自治体の制度を参考にして、美咲町でも導入できないか検討してはどうでしょう？
- 専門職の採用は、町民の生活に直結する部分も多いので、対応策を考えていきましょう。
- 働き方改革は評価が非常に難しいため、職員へのフィードバックや振り返り、アンケート等の調査を実施し、継続的に効果を図りましょう。